

報道関係者各位

2026年1月19日 VIVI PROJECT 広報事務局



【リブランド発表】人類の至宝を次世代へ繋ぐ「**LEGENDARY HUMANITY**」が「**VIVI PROJECT**」へと進化。**RWA**(現物資産)トークンエコノミーの構築を開始。

～最新3Dスキャン技術“SCAI”によるデジタル化と、RWAインデックスによる価値の最大化へ～

VIVI PROJECT(旧:LEGENDARY HUMANITY)は、最新の3Dスキャニング技術「SCAI」を活用して人類の文化的遺産をデジタルアーカイブ化し、AIへの教師データ提供およびRWA(Real World Assets:現物資産)を基盤とした新たなトークンエコノミーを構築するプロジェクトとして、大幅なアップデートおよびリブランドを行うことをお知らせいたします。

■ 背景とプロジェクトの進化

これまで「LEGENDARY HUMANITY」は、人類が創り出した最高傑作を最新技術でデジタル化し、AIに「人類の素晴らしさ」を学習させることで、その価値を未来に継承することを目指してきました。

今回のアップデートにより、本プロジェクトは「VIVI PROJECT」へと名称を変更。単なるアーカイブ化に留まらず、現物資産(RWA)に裏打ちされた独自の経済圏を構築する「RWAトークンプロジェクト」として、Web3時代の新たな価値創出に挑戦します。



■ VIVI PROJECTが提供する「RWAエコシステム」の4つの柱

1. 高精度3Dスキャン技術“SCAI:DIGITAL LUMINOUS Technology”によるデジタル化 人類の至宝をデジタル化し、AIの教師データとして提供。人類の英知をテクノロジーの進化と融合させます。
2. VIVI COiN にRWAの価値を追加する展開 プロジェクトトークン「VIVI COiN」を軸に、「VIVI PROJECT」と提携したコレクターの保有するRWAを紐づけ「VIVI PROJECT」の価値を向上させる予定です。時間の経過とともに価値が高まる「LEGENDARYな逸品」を「VIVI COiN」の背景とすることで、安定的な価値基盤を構築します。
3. デジタル＆リアルのハイブリッド・ミュージアム 収集されたRWAは、デジタル上のミュージアムおよびリアルの展示施設の両方で公開。マーケットプレイスを通じた売買も可能となり、資産としての流動性を高めます。
4. VIVI DAOによる「Buy-Back & Burn」モデル 運営主体である「VIVI DAO」は、展示・販売収益を用いてVIVI COiNの「Buy-Back(買い戻し)」および「Burn(焼却)」を実施。これにより、トークンの希少性を高め、長期的な価値上昇を促進します。

■ 今後の展望: 世界的なコレクションとの提携

VIVI PROJECTは、世界中の資産家が保有するコレクションのネットワーク化を進めています。その第一歩として、以下の提携・交渉を開始いたしました。

- **LA MUSEUM**: Yves Saint Laurent, Comme des Garcons, Worlds End, Alexander Macween, John Galliano, Madison Martin Margiela など世界最大級のレジェンダリー・ファッショニ・コレクションを保有。
- トレーディングカード大手: 世界的なトレーディング資産の最大手との交渉をスタート。

これにより、ファッショニ、アート、ホビーといった多様なジャンルのRWAをプロジェクトに取り込み、エコシステムを急速に拡大させてまいります。

■ VIVI PROJECT 概要

VIVI PROJECTは、文化とテクノロジーの融合によって、人類の最高傑作をデジタルとリアルの両面で保存・活用する次世代プラットフォームです。RWAのインデックス化を通じて、Web3時代の新たな資産価値を定義します。

- 公式サイト: <https://lhvivi.com>
-

【本件に関するお問い合わせ先】

- お問い合わせ先: VIVI PROJECT 広報担当
 - Email: press@lhvivi.com
-